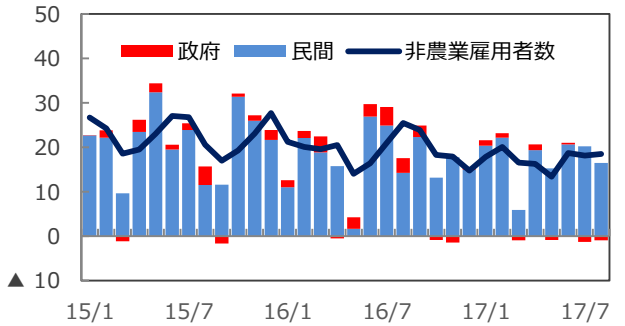


今日のトピック 増勢を保つ米国の雇用統計（2017年8月） 雇用の伸びは鈍化したが、基調はしっかりしている

ポイント1 雇用は約16万人の増加 夏季休暇等の影響でやや鈍化

- 2017年8月の非農業部門雇用者数は、前月比15.6万人の増加となりました。
- 前月の実績である同18.9万人増、ブルームバーグ集計による市場予想の同18.0万人増を下回りましたが、①8月は夏季休暇の影響等で統計に歪みが生じやすい、②8月のISM製造業景況感指数は堅調だった等を踏まえると、労働市場の基調に変化が生じたわけではないと考えられます。

▲ (万人) 【非農業雇用者数の推移（前月比増減）】

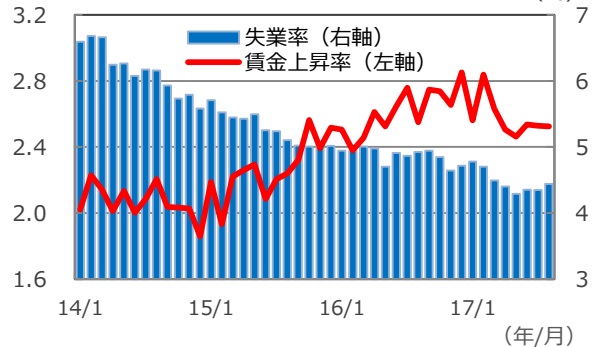


(注) データは2015年1月～2017年8月。非農業雇用者数は3カ月移動平均ベース。
(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 失業率は小幅に上昇 賃金は引き続き緩やかに増加

- 失業率は4.4%でした。前月の4.3%からは0.1%ポイントの上昇となります。就業者数が減ったためですが、雇用者数と同様に振れの大きい指標であり、一時的なものと考えられます。
- 賃金上昇率は前月比で0.1%、前年同月比では2.5%でした。労働需給は引き締まってきましたが、賃金の増加率に加速する気配は見られません。企業がコスト削減のため、賃上げを抑制していることが原因と考えられます。

(前年同月比、%) 【賃金上昇率と失業率】



(注) データは2014年1月～2017年8月。
(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 金融政策の正常化は緩やかに進められる見通し

- 8月の雇用統計で雇用者数は市場予想に届かなかったものの、同じ日に公表された同月のISM製造業景況感指数が58.8と、11年4月につけた59.1以来の高い水準になったこと受け、9月1日の米国市場では株価が上昇、債券価格は下落（利回りは上昇）しました。一方、外為市場では、米ドルが円に対して上昇しました。
- 米景気・雇用の拡大を背景に、米連邦準備制度理事会（FRB）は、利上げの継続に加え、近い将来、FRB保有資産の圧縮に踏み切ると予想されます。ただし、物価上昇率が低い水準に止まっていることから、金融政策の正常化は慎重に進められると見られます。このため、景気や金融市場に及ぼす影響は限定的と考えられます。

ここもチェック! 2017年8月30日『米長期金利』が上昇しないワケ 2017年8月25日 米国経済と株式市場の見通し（2017年8月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。